

## 公益社団法人愛知県医師会 第5回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年 5月16日(木) 午後4時10分～午後5時35分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

### 出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一

城 義政 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 榎尾富二

松尾 清一 樋口俊寛 伊藤富士子 瀬瀬雅明 細川秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬敬紀

代議員会議長／杉田洋一

代議員会副議長／大野和美

### 欠席者

なし

議事録作成者 大嶋 卓

※加藤理事が途中退席の為、承認事項11～承認事項14、協議事項15については、23名にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

### 議 事

#### —承認事項—

#### 1. 庶務関係事項について

##### (1) 後援並びに共催について

①愛知県心身障害者コロニー主催の第2回あいち小児在宅医療研究会〔11/24(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、審議の結果、承認された。

②公益社団法人愛知労働基準協会主催の平成25年度愛知産業安全衛生大会の後援及び第1部(開会式・大会宣言)への臨席について

市川理事より説明があり、審議の結果、後援及び西山理事の臨席について承認された。

- (2) 愛知県心身障害者コロニー(総長 安藤久實)主催の障害児(者)の医療的ケアを考えるシンポジウム～愛知・岐阜・三重の現状と課題～〔7/28(日)〕の後援について  
市川理事より説明があり、審議の結果、承認された。
- (3) 公益社団法人日本理学療法士協会・東海北陸ブロック理学療法士協議会(大会長 鳥山喜之)主催の第29回東海北陸理学療法学会〔11/9(土)～11/10(日)〕の後援について  
市川理事より説明があり、審議の結果、承認された。
- (4) 環境省「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」における「エコチル調査愛知ユニットセンター運営協議会」の委員就任について  
市川理事より説明があり、審議の結果、柵木会長の委員就任が承認された。
- (5) 6月の県下医師会長等協議会について  
市川理事より説明があり、第169回(定例)代議員会開催により休会とすることが承認された。
2. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練〔6/4(火)〕について  
稲坂理事より説明があり、承認された。
3. 平成26年厚生労働省関係叙勲及び褒章候補者の推薦について  
市川理事より説明があり、武井禧明先生(名古屋市)を叙勲の推薦候補者とすること、また褒章の推薦候補者がいなかった為、本会として褒章の推薦は行なわないことが説明され、承認された。
- ※禧の字は、正しくは「示」が「ネ」になります。
4. 公衆衛生関係功労者に対する知事表彰について  
市川理事より説明があり、加藤錠一先生(津島市)、大谷勉先生(愛知県小児科医会)、上野直樹先生(愛知県産婦人科医会)、伊藤文則先生(豊川市)の4名を候補者として推薦すること、また推薦順位を年齢順とすることが承認された。
5. 広報委員会委員の変更について  
吉田理事より説明があり、日本女医会愛知県支部の委員を小出詠子先生から木本昌子先生に変更することが承認された。
6. 愛医総研委員会委員の変更について  
伊藤(健)理事より説明があり、愛知県の委員を伊藤弘和氏より川口竜二氏に変更することが承認された。

7. 地域医療再生に関する多職種連携協議会委員の変更について

伊藤(健)理事より説明があり、医療福祉計画課の委員を水野春美氏より西郷大樹氏に、健康対策課の委員を柴田直之氏より山下恵美子氏に、医薬安全課の委員を早川直宏氏から久野敬司氏に変更することが承認された。

8. 平成 25 年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦について

大輪理事より説明があり、常任委員に大輪理事を、運営委員に城理事を推薦することが承認された。

9. 国民健康保険診療報酬審査委員会委員(公益代表)の推薦について

檜尾理事より説明があり、樋口理事を推薦することが承認された。

10. 「現代医学」誌編集委員会の今後の在り方について

松尾理事より「現代医学」誌に関するアンケート結果と現状の発刊方法のプロセスについて説明があり、その中で、「現代医学」誌の購読に関して、アンケートの設問で、「現代医学」誌を読まないという回答が 50.1%と半数を超えていること、アンケート回収率が 9.6%と低調なことからも、読者数がかかなり少ないことが想定される為、今後の「現代医学」誌の発刊に関して、冊子発送の方式から Web 上に掲載する方式に変更することについて承認を求められ、審議の結果、理事 19 名全員の賛成をもって承認された。

なお、伊藤副会長より、学術情報の提供という点において、多くの学術誌が Web で閲覧できることから、情報の質が保たれるのであれば、Web 上で情報を入手できる点では、退行した形ではないとの補足意見が述べられた。一方、加藤監事より、学術団体として学術誌を 1 冊も発刊しないのはいかなるものかとの意見も出された。ただし、柵木会長は、歴史のあるものであり、長年携わってみえる先生方もいらっしゃるため、本決議を編集委員会にお伝えいただいて、ご理解いただけるか慎重に進めていただきたいと述べられた。

11. 母体保護法指定医師講習会〔7/20(土)〕の開催について

伊藤(富)理事より説明があり、承認された。

また、欠席者に対しては、愛知県産婦人科医会役員による伝達講習として、第2回目を生涯教育講座【産婦人科】〔8/24(土)〕終了後、第3回目を母体保護法指定医師の新規指導〔9/18(水)〕と併せて開催することについて承認された。

12. 平成26年度予防接種要望額について

額額理事より説明があり、審議の結果、集団接種45,300円以上、個別接種10,000円以上で要望することが承認された。

13. 風しんの予防接種における公費負担対象者の拡大に関する要望について

瀨瀬理事より説明があり、審議の結果、県下各市町村長及び愛知県知事に要望書を送付することが承認された。

#### 1 4. 愛知県医師会警察部会幹事の変更について

細川理事より説明があり、尾張中部医療圏の幹事を新居均先生より尾関規重先生に変更することが承認された。

### —協議事項—

#### 1 5. 会費の減免申請について

可世木理事より、稲沢市医師会から会費の病気による減免申請があったことが説明され、審議の結果、適切なものであり、原案のとおり減免することが承認された。

#### 1 6. 平成 26 年度の予算編成に向けて

可世木理事より、平成 26 年度予算に向けての協議のための日程、医師会の委託料及び補助金の現状について説明があり、その中で各担当理事に対して、内容の確認をし、事業ごとに評価・分析を行い、見直しを検討いただくよう依頼された。また柵木会長より、平成 26 年度の予算の再編を行う為には、今年の夏休み前には県と交渉しなければならない為、大枠を会長三副会長で作成し、各担当理事にお示しするので、委託料・補助金事業に対するご意見があれば理事会の席上で議論いただきたいとの補足説明があり、継続審議となった。

#### 1 7. その他

##### ・第 169 回（定例）代議員会の次第について

加藤監事より、「公益社団法人愛知県医師会 第 1 回」という表記を次第に入れてはどうかとのご提案があった。

柵木会長より、日本医師会も公益法人となって以降の代議員会も通算の開催回数で表記されていること、市川理事より、歴史的に考えて継続性を持つ必要があることから通算の開催回数で表記させていただくと回答された。

### —報告事項—

#### 1. 中部医師会連合第 2 回常任委員会〔5/8(水)〕について

柵木会長より、平成 25 年度の中部医連特別委員会について、社会保険、介護保険に続く 3 つ目として昨年度も実施した医療政策を実施することになったこと、その委員長が本会の加藤理事に決定したことが報告された。

また第 129 回日本医師会定例代議員会の代表質問を愛知県が担当することになった

ので、5/23(木)の日医代議員と本会役員との合同協議会において検討すること、各ブロックから提出される個人質問を2題提出する場合、1題は議場で回答し、1題は日医雑誌の誌上にて回答するという方式が日本医師会議事運営委員会にて決定したことが報告された。

2. 日医理事会〔5/14(火)〕について

柵木会長より、資料により当日の内容について報告された。

3. 支払基金幹事会〔5/8(水)〕について

伊藤副会長より、審査情報提供事例の処理の流れについて説明があり、審査情報提供検討委員会は年2回しか開催しないので、支払基金の本部に毎月の開催を強く要望するようお願いしたこと、審査情報自体が一般の会員には知らされず、審査委員のみが知っている現状について、廃止してオープンにし、会員に対して周知徹底するようお願いしたことを報告された。

4. 救急医療情報センターにおけるゴールデンウィーク期間中の案内状況について

稲坂理事より、ゴールデンウィーク期間の受信件数並びに1日平均の受信件数について、資料により昨年度より減少したことが報告され、昨年度より減少した要因として、4月30日から5月2日まで3日間は、カレンダーどおり平日と同様に一般診療をおこなっている医療機関も多かったため、需要が分散したことが考えられること、また休日夜間診療所のデータが3倍近く跳ね上がったが、検索サイトのロボット検索が働き、同じ人が繰り返し検索されたためではないかという点について現在精査中であることが報告された。

5. 一般社団法人愛知県労災指定医協会 平成25年度 臨時理事会〔5/2(木)〕について

城理事より、一般社団法人愛知県労災指定医協会第1回常任理事会が本来4/24の開催予定であったが、一般社団法人化したことで役員構成が変わり、参加が全て理事になった為、理事の出席者が少ないと流会になってしまいが、4/24の常任理事会は定員に満たなかった為流会となり、5/2に臨時理事会を開催したことが報告された。

6. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第2回運営委員会〔5/8(水)〕について

城理事より、平成24年度の特健健診は、235,331件で昨年度より5千件ほど増加したこと、平成25年度には、特健健診受診勧奨ポスターを製作し各医療機関に配布すること、フリーペーパー「ほすぴいお」を発行し、医療機関に配布する予定であること、平成25年度のインフルエンザ接種補助事業の打ち合わせ、医療健康保険組合設立に関する調査の実施、学術研究報告を、8/29(木)、8/30(金)の日本人間ドック学会に発表予定であることが報告された。

7. 愛知県医師会医療秘書学院第 33 回入学式〔4/21(日)〕について  
大輪理事より、入学生 13 名と進級試験成績優秀者 3 名の出席があったことが報告された。
8. 治験審査会〔4/26(金)〕について  
大輪理事より、継続審査 14 件(統合失調症 7 件(小児 1 件含む)、2 型糖尿病 2 件、変形性膝関節症・クローン病・潰瘍性大腸炎・大うつ病・1 型糖尿病 各 1 件)についてすべて承認されたことが報告された。
9. 名古屋医療センター地域医療支援病院運営委員会〔5/8(水)〕について  
大輪理事より、病院長の交代、平成 24 年度の病床利用率、紹介率、逆紹介率、救急車来院数、平成 25 年 1 月～3 月の救急車断り件数について資料により報告があった。その中で救急車断り件数について、人的、物的のキャパシティ不足が多いことが理由としてあげられると説明された。
10. 難病相談・支援センター間ネットワークシステム構築のためのワークショップ〔5/9(木)〕について  
大輪理事より、今回のワークショップでは、全国の難病相談・支援センターネットワークで結び電子相談票を用いて各支援センターの相談記録や情報を共有することに関して意見交換が行われたことが報告された。
11. 平成 25 年度第 1 回名古屋掖済会病院地域医療支援病院運営委員会〔5/9(木)〕について  
大輪理事より、平成 24 年度紹介率、逆紹介率、平成 24 年度 1 月から 3 月の救急患者数、救急搬送患者数について資料により報告があった。その中で掖済会病院は逆紹介率が非常に高いが、これは救急に力を入れており紹介状の有無にこだわらず患者を受け入れる方針であり、紹介率を上げる努力は特に行なっておらず、逆紹介率を上げるよう努力しているとの回答があったことが報告された。
12. 産業医研修会〔5/9(木)〕について  
西山理事より、125 名の出席があったことが資料により報告があった。
13. 第 1 回 尾張北部地域産業保健センター運営協議会〔5/8(水)〕について  
西山理事より、江南労働基準監督署長及び愛知産業保健推薦センター副所長の交代に伴う挨拶、平成 25 年度の委託費支出実績について、平成 25 年度委託実施計画として、県医師会として本年度はメンタルヘルス対策に力を入れたいと申し合わせをしたことが報告された
14. 社保集団指導講習会並びに医療安全説明会〔5/8(水)〕について

樫尾理事より、対象地区 205 名、その他 100 名の合計 305 名の出席であったことが資料により報告された。また今年度はあと 3 回（6 月 2 回、7 月 1 回）の開催予定であり、8 月に 6 年に 1 回の指定の更新の集団指導が始まる予定であることが併せて報告された。

## 15. 各種委員会・部会について

### A) 救急委員会〔5/7(火)〕について

稲坂理事より、急性期脳卒中に関するアンケート調査、9/9(月)に開催する「平成 25 年度愛知県救急医療推進大会」の講師について、松田委員(名大)に依頼することとなったことが報告された。

### B) 広報委員会〔5/8(水)〕について

吉田理事より、校正班分担の確認、トップ原稿、表紙作品を協議したこと、広告については 2 件を審査し、いずれも掲載することが了承されたことが報告された。

### C) 環境衛生委員会〔5/10(金)〕について

瀬瀬理事より、行政から鳥インフルエンザ(H7N9)、風しんの流行、予防接種事故について報告があったこと、予防接種広域化、平成 26 年度予防接種要望額について検討され、原案どおり要望することが了承された旨報告された。

## 16. その他

### ・風疹ワクチンの接種について

伊藤副会長より、本日午後 4 時 30 分県庁から風疹ワクチンの接種を緊急的に促進する旨のプレスリリース発表がなされたことについて報告された。

なお、伊藤副会長より、市町村が実施しなければ県は補助しないこと、市町村ごとで補助金額が決定されるので、自己負担がばらばらであること、助成の執行は 5/23 の県議会で協議され、そこで承認されれば翌日には市町村に説明を行い、早ければ県は今月中には実施する予定であることが説明された。瀬瀬理事より、全国的に風疹ワクチンの助成は 5 県くらいしか行っていないが、その中でも愛知県は他の県に比べて助成額が低いということが指摘された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年5月16日